

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

学術雑誌総合目録欧文編新版データ ベースのデータ調査の実施について

文献所在調査の際に欠くことの出来ないツールである学術雑誌総合目録(学総目)の欧文編の全面的なデータ調査が60年10月1日現在で実施されることになり、このほど、東大文献情報センター(文情センター)から各大学図書館等へ調査依頼がなされた。

学総目と文編については、一昨年データ調査が行われたが、本年5月そのデータベースの編集が完了しており、文情センターのオンライン目録システムによるオンライン検索、登録が可能となる。また近く3分冊約4,000ページからなる冊子も刊行される予定である。

今回の欧文編に関するデータ調査の概要は次のとおり。

(1) 編集の方針

収録範囲は、国内で所蔵する中国語、韓国・朝鮮語を除く欧文の逐次刊行物で、収録誌数は約100,000タイトル。

調査機関は、国公立大学図書館、都道府県立図書館を含む調査専門図書館、国会図書館、日本科学技術情報センターで、調査期間は明年3月まで。

(2) 調査の目標

○現在3編にわかれている1979自然科学編、1980人文・社会科学編、1982補遺版はそれぞれ記述方法も異っているが、これらを統合(約9万タイトル)するデータベースの開発

○1980年以降のデータを追加し、内容を最新のものにする(新規誌名は1万7千タイトル以上あると思われる)

○これまで蓄積された学総目データベースの作成技術を踏まえ、今後の学術情報サービス向上に必

要な標準的書誌情報及び所蔵情報を備えたデータベースの開発

○文情センターで開発したオンラインによる雑誌目録サブシステムと学総目の全国悉皆調査との融合による総合目録データベースの形式及び維持方式の開発

(3) 調査の内容

○3編に収録されている全所蔵データの点検・修正とその後の増加巻号の追加

○3編に収録されていない逐次刊行物についての書誌データ、所蔵データの追加

○3編に収録されている書誌データの点検

特に、今回は、従来の調査の中心であった所蔵調査に加え、書誌分担調査が行われることになり、書誌情報の充実と標準化が促進される。これは現3編の収録誌のうち7万7千タイトルについて、一書誌一館を原則として所蔵館を選び、調査が依頼される。依頼された館では、現物に当たり、書誌データを点検するもので、いわば共同分担目録作成(シェアード・カタログング)方式によるデータの提出である。学術雑誌の所蔵誌数が多くまたユニーク誌も多い本学には、合計2,670タイトルの書誌分担調査が割当てられている。

この欧文編データベースが完成すれば、和文編とあわせ、世界有数の逐次刊行物の総合目録データベースが構築されることになる。

また、本学図書館にとっては、電算機導入を目前にひかえ、逐次刊行物の書誌・所蔵データの整備ともなる上記データ調査の意義は大きく、この調査に対する学内本・分館、部局図書室等関係者の協力をお願いする次第である。

北青葉山分館新築落成

東北大学附属図書館北青葉山分館は、理学・薬学を主題領域とする図書館として、昭和57年4月に設置され、以来理学部の一部を借用して図書業務を行ってきましたが、このたびようやく懸案の建物が、理薬厚生会館と泡箱写真解析施設の間の地に新築完成しました。これに伴ない、従来からある理学部の各学科図書室及び薬学部図書室は新館に統合され開館の運びとなりました。

落成式は、去る10月30日（木）15時より、理学

部大講義室において、石田東北大学学長はじめ多数の来賓の方々や、関係者出席のもとに盛大に行われ、式に引き続き新図書館が披露されました。

新図書館は、鉄筋コンクリート4階建、総面積3356㎡、収蔵能力34万7千冊、総座席数312席であり、開館時間は、平日午前9時から午後8時、土曜日は午前9時から午後5時までとなっています。

（なお、落成式に於ける来賓の方々の祝辞と新館の概要については、次号に掲載します。）

図書館業務機械化検討の状況（9）

昭和60年8月～10月

図書館業務電算化推進室会議：第5回（8/8）、第6回（9/5）、第7回（9/25）、第8回（10/7）、閲覧サブシステムの初期データの作成について

閲覧業務WG：第1回（10/7）閲覧サブシステムの初期データの作成について

図書館業務機械化掛長等懇談会：第17回（10/25）

昭和60年度国立大学附属図書館事務部長会議報告、文献情報センターシステムの近況、図書館業務電算化推進室会議報告、閲覧サブシステムの初期データの作成、学術雑誌総合目録（欧文編）新版データベースのデータ調査について、ほか

第40回東北地区大学図書館協議会総会

標記の会議は9月19～20日の両日、東北大学附属図書館が当番館となり、東北大学松下会館を会場に、加盟館49館から71名が出席して開催された。

協議に先立ち東北大学石田学長の挨拶があり、次いで議長団の選出を行い、会務報告、一般報告（国公立大学の共通事項、国立大学関係、公立大学関係、私立大学関係）、昭和59年度決算報告、監査報告の後、次の協議題について討議が行われた。

1. 昭和60年度予算（案）について
2. 「東北地区大学図書館所蔵 新聞目録」

（第2版）の編集・発行について

3. 協議会誌第37号（第40回記念号）の編集について
4. 土井元郎氏、菅野行雄氏、佐藤初雄氏の表彰について
5. 次期総会の開催について（福島地区：福島県立医科大学に決定）

今年度の総会は第40回目にあたり、裏田武夫福島大学教授（前東京大学附属図書館長）による「我が国の大学図書館への期待」と題して記念講演があった。

昭和60年度全国図書館大会報告

日本図書館協会及び宮城県・仙台市教育委員会主催による標記大会（第71回）は、さる10月30日（水）～11月1日（金）の3日間、仙台市で開催された。参加者は全国から約1,600名余の図書館関係者が集まり、当面している課題について終始熱心な討議が行われた。

第1, 3日目は全体会が行われたが、第2日目は、6つの館種別、4つの課題別のそれぞれ分科会にわかれて行なわれた。第3分科会（大学図書館）の概要は次のとおり。

昨年のお阪大会と同じ「大学図書館ネットワーク基盤整備のために」のメインテーマのもとに、「地域協力と専門分野別協力」のサブテーマで行われた。

午前中は、原田隆吉氏（東北大学助教授、当館調査研究室長）によるメインテーマと同（題）名の基調講演が行われた。午後からはパネルディスカッションに移り、「地域ネットワークについて」鈴木嘉美氏（富士大学附属図書館）、「専門分野別ネットワークについて」本田 享氏（福島県立医科大学附属図書館）、最後に、「総合目録作成における協力について」高木 忠氏（東北大学附属図書館）からそれぞれ発表があり、これらに対し、フロアーの参加者との間に種々質疑応答があった。

大学図書館分科会への参加者は170名を数え、盛会裡のうちに終了した。

第5回国際医学図書館会議

(5th International Congress on Medical Librarianship)

日時 昭和60年9月30日（月）～10月4日（金）
会場 日本大学会館（東京都千代田区九段南）
本学出席者（医学分館） 桜田事務長、田代運用掛長、菊地事務官。

国際医学図書館会議は、第1回（1953年）はロンドン、第2回（1963年）はワシントン、第3回（1969年）はアムステルダム、第4回（1980年）はベオグラードの各地で開催されている。今回開催された第5回会議の主催機関は、日本医学図書館協会、国際図書館連盟生物・医学図書館部会で

ある。

会議のテーマ「医学図書館—ひとつの世界：資源、協力、サービス」のもとに世界の医学図書館関係者（国内312名、国外253名）が一堂に会し、医学の図書館、情報活動に関する課題を国際的視野から研究、討議し、また日頃の研究成果を発表、討議することが出来たことは、医学図書館発展のために意義があった。5日間にわたる会議は盛会のうちに終了し、次期開催地はニューデリーとなった。

日本画「待宵」（畑井美枝子先生作 1974年）の受贈について

医学分館では新館の落成に伴い環境の整備を行ってまいりましたが、利用者及び館員から雰囲気や和らげる絵画を希望する声が多く、畑井美枝子先生（河北美術展顧問、宮城県芸術協会

審査員）にお願いしましたところ快く引き受けて下さり、大作「待宵」（200×140cm）をご寄贈頂きました。先生の医学分館に対する格別のご好意に深く謝意を表します。

指定図書について

昭和61年度の指定図書実施計画をたてるため、本年10月より各学部、教養部の講義担当教官にたいし、その指定方を依頼していましたが、この程リストの提出が終了しましたので現在それに基づき実施計画をたてています。これらの指定図書は、受入整理後直ちに本館・分館の閲覧室に配架され

利用に供されることとなりますが、講義担当教官が講義に直接関連する必読書として特に指定した図書ですので、大いに利用されることを願っています。

なお本館では、指定図書のリストを作成し、新年度の開講までに担当教官及び学生に配布する予定ですので、こちらの方も活用されるよう期待いたします。

お 知 ら せ

年末年始及び年度末の休館・休室及び延長開館の予定は次のとおりです。

休館

1. 年末年始：昭和60年12月27日(金)から昭和61年1月4日(土)まで

休室

1. 12月下旬並びに3月下旬はそれぞれ数日間、配架整備のため開架閲覧室を閉室する予定です。日程は確定次第お知らせしますので館内掲示にご注意下さい。

い。

延長開館

平日20時、土曜日17時まで（開架閲覧室、カタログホール）

1. 昭和60年12月21日(土)まで
2. 昭和61年1月10日(金)～2月22日(土)まで

なお、教養部の定期試験時は自由閲覧室も開室予定ですが、期間については館内掲示でお知らせします。

人 事 異 動

発令年月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
60. 9. 1	整 理 課 文部事務官	佐々木 勝 義	北青葉山分館 文部事務官	配 置 換
"	理 学 部 "	岡 崎 照 子	" "	"
"	" "	大仁田 浩 子	整 理 課 "	"
9. 30	整 理 課 事務補佐員	佐々木 泰 子		辞 職
10. 1	北青葉山分館 図 書 掛 長	菅 野 博 之	北青葉山分館 管 理 掛 長	配 置 換
"	" 文部事務官	佐々木 勝 義	" 整 理・運 用 掛 長	昇 任
"	関 覧 課 事務補佐員	中 鉢 たか子	整 理 課 事務補佐員	配 置 換
"	総 務 課 "	四 倉 早 苗	関 覧 課 "	"
"	理 学 部 "	越 路 崇 子	北青葉山分館 "	"
"	" "	佐 藤 淳 子	" "	"
"	" "	鈴 木 くに子	" "	"
11. 1		金 野 一 枝	総 務 課 "	採 用

東北大学附属図書館報「木遣子」

編集委員長 南館義孝 編集委員

発行人 柿沼正男 発行所

第10巻 第3号（通巻第39号）発行日 昭和60年11月30日

佐藤忠弘、小野和夫、佐藤正弘、及川恵美子

東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 22-1800 (2408)